

## 環境と持続可能社会 *Environment and Sustainability*

### 中心概念 Central Idea

- Human activities may affect the survival of living things.

### キーコンセプト Key Concept

- Perspective 視点
- Causation 要因
- Responsibility 責任
- Function 機能

### 教科を横断した学び

- 社会- 3 学期の環境単元を前倒して実施
- 図工- 絶滅危惧種の模型を制作
- 英語- デイバート言語
- 理科- 植物、生き物が育つ環境

### 単元のねらい

- 学習環境、生存環境（生態系）など環境には様々な形があることを理解する。
- 適切な環境が十分に保持されない場合、どのような影響があるか考える。
- それぞれの目的や生態系に合う環境を守るために、自分たちができることは何か見出す。

### 目指す学習者像

- Communicator コミュニケーションできる人
- Inquirer 探究する人
- Thinker 考える人

### 単元を通してこんな子供になってほしい！（目指す価値変容）

地球環境の問題は様々なメディアで取り上げられており、児童は地球温暖化や二酸化炭素、マイクロプラスチックなど様々な用語を耳にしたことがあるだろう。しかし、それらの問題は必ずしも身近なものでなく、他人事のように日々の生活を送っているのが現状である。この単元では、SDGs が設置された経緯を理解し、「環境」という概念を多角的な視点で捉えなおし、環境問題を少しでも自分ごととして捉え、環境にやさしい行動と考え方ができる人になってほしい。

### 単元の成果と課題

- ◎ 相手意識、目的意識をもったプレゼンテーション能力の向上
- ◎ 剽窃に対する知識を得られた
- ◎ タイムマネジメントを含めた自己管理スキルの向上
- ◎ リサーチした事実をもとにした環境問題に対する意識の変化
- ▲ いかに学びを深めていくか。子供たちがどこまで環境問題を自分ごととして捉えているのか疑問が残る。
- ▲ 評価方法の検討。多様な活動に対して適切な評価ができていないか。また、適切なフィードバックが足りていない。
- ▲ 校外学習を有効活用したい。この単元は特に、教室外で学ぶことが多いはず。学びの場を広げたい。

### 総括的評価課題 Summative assessment tasks

- 資源を有効に使いながら、環境をより大切にするため、何ができるのか？（エッセイ）
- 環境問題啓発ビデオ作り（ビデオ・ループリック）

### 本単元での指導事項（知識・技能）

- MDGs と SDGs の違い（環境問題への注目）
- 剽窃
- WLL 学習環境と教育
- グループデイバートの流れと用語（英語）
- A habitat, food chain
- Endangerment, natural or human cause
- 啓発ビデオの作り方

## 次年度へのカリキュラム改善案を提示 (PDCA→P)

**黒字 = 学習活動**  
**青字 = 形成的評価課題**  
**赤字 = 評価の観点**



### 備考

- 地球温暖化→地球高温化、Climate Change → Climate Crisis など最近の用語の変化を抑えることで、1. Tuning In の①導入につなげることも考えられる。環境悪化や汚染についての知識レベルもかなりばらつきがあった。身近な所に校外学習に出かけ、身の回りの環境「ビーチのごみ」をきっかけに意識的に見ると「環境ってなんだろう?」「環境が人間や生き物、自然に与える影響って?」と小さな問いから抽象的な問いが児童から出てくるのがこの探究サイクルを回す鍵となる。
- 昨年度は、学習環境について良い学習環境と悪い学習環境の実験を行ったが、条件制御がうまくできなかったり心理的要因が結果に大きく影響したりするため、適切な実験とはいえないと感じたため次年度はカット
- SAP はクラス全体で環境啓発ビデオを作った